

武藤氏、議員辞職を否定

新規公開株巡り会見 議員辞職報道釈明



武藤貴也
衆院議員

新規公開株の購入をめぐる金銭トラブルを「週刊文春」に報じられ、自民党を離党した武藤貴也衆院議員(36)＝滋賀4区＝が26日に国会内で記者会見し、「法的な問題はない」と議員辞職しない考えを述べた。株の「国会議員枠がある」と持ちかけたなどとされる報道内容も否定した。

週刊文春は、武藤氏が昨秋に「値上がり確実な新規公開株を国会議員枠で買える」と知人に持ちかけ、約4千万円を集めたなどと報道。「(証券会社が)国会議員のために枠を抑えてる」などと武藤氏が書き込

んだ無料通信アプリ「LINE」の画像も掲載した。武藤氏は会見で、株購入を提案したことは認める一方、LINEの記述は、知人が資金を集める際に「国会議員のために枠を押さえている」と誤解されたら大変」という趣旨だと反論。「枠」は、証券会社の得意顧客である政策秘書の知り合いのものだと釈明した。

株購入資金の入金先が武藤氏の政策秘書の口座だったとされる点は「(知人の)口座が裁判所から仮差し押さえを受けていた」などと説明。実際に株は購入できず、資金の一部を返済していないとも報じられたが、26日までに資金は「全て返金した」と述べた。

武藤氏は7月末、安全保障関連法案に反対する学生

団体を「自分中心、極端な利己的考えに基づく」などとツイッターに投稿。会見でも、投稿は削除しない考えを改めて示した。

昨年の衆院選で武藤氏の選対責任者だった小寺裕雄

・滋賀県議はこの日の釈明を「常識外れでちよっと苦しいのでは。有権者が納得できる内容とは思えない」、関西で毎週デモを展開する「SEALDs」KANSAIのメンバーで、立命館大2年の大沢菜実さん(21)は「ツイッターにはあきれたが、安全保障法案とどうも大きな問題と闘っており、辞職するかどうかはあまり気にしていない」などと話した。